しあわせ信州

長野県（上伊那地域振興局）プレスリリース　令和７年（2025 年）４月 28 日

# 「飯沼の棚田」の保全活動の促進に向けて、『棚田パートナーシップ協定』を締結します

**「つなぐ棚田遺産」に認定されている「飯沼の棚田」（中川村大草）において、生産基盤や景観の維持・保全等を担う「飯沼の棚田地域振興協議会」と、酒米の生産及び日本酒の醸造・販売を担う「伊那食品工業株式会社」が、棚田パートナーシップ協定を締結します。**

１　日　時
令和７年５月９日（金）　午前 11 時 30 分から
※協議会員等による田植え作業後に執り行います

２　場　所
飯沼の棚田（別添位置図参照）

３　出席者

| | | |
|---|---|---|
| 伊那食品工業株式会社 | 代表取締役社長 | 塚越　英弘　氏 |
| 飯沼の棚田地域振興協議会 | 会　　長 | 宮下　健彦　氏 |
| 長野県上伊那地域振興局 | 局　　長 | 池上　安雄 |

４　締結式
概要説明、協定書署名、出席者挨拶

信州棚田ネットワーク
かんてんぱぱ®

飯沼の棚田の酒米で醸造された
日本酒「おたまじゃくし」

参考

○棚田パートナーシップ協定とは
令和元年度に長野県が、棚田の保全に取り組む団体と、企業・学校等の多様な主体を結びつけることで、継続的な保全活動を支援するため、本制度を設立しました。
県内で 15 例目、上伊那管内では４例目の締結となります。

○つなぐ棚田遺産とは
令和３年度に農林水産省が、棚田地域の活性化や棚田の持つ多面的な機能への理解促進に向けて、全国の優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定しました。全国で 271 地区、県内で 15 地区（全国３位）のうち、上伊那管内では３地区が認定されています。

こどもまんなか
みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州

（問合せ先）
担　当　上伊那地域振興局　農地整備課
計画調査係　寺島、千代
電　話　0265-76-6816（直通）
ＦＡＸ　0265-76-6819
E-Mail　kamichi-nochi@pref.nagano.lg.jp

（別紙）

| 締結者 | 取組概要 |
| --- | --- |
| 伊那食品工業株式会社 | ○ 寒天を原料とした商品の研究開発を始め、遊休農地の有効活用を目的とした農園事業や、伝統的な醸造技術の継承するための清酒事業等、幅広い事業を展開しています。<br>○ 飯沼の棚田の美しい風景を残し、酒づくりの文化を守りたいという想いから、グループ会社である「有限会社ぱぱな農園」、「米澤酒造株式会社」とともに棚田米（美山錦）の生産、及び棚田米のみを使用した純米酒『おたまじゃくし』の開発・醸造・販売に取り組んでいます。<br>○ 平成 28 年からは、棚田の田植え・稲刈り作業を研修の一環として位置づけ、新入社員の皆さんが参加しています。 |
| 飯沼の棚田<br>地域振興協議会 | ○ 飯沼の棚田の保全を目的に、令和５年に発足した産官民により構成される団体です。<br>○ 毎年田植えと稲刈りの時期には、営農を担う「有限会社ぱぱな農園」を中心に、協議会員総出により作業を行っています。<br>○ 令和７年度からは、県や村の補助金を活用して、農業用倉庫や展望スペースの整備を進める予定です。 |